Vol.55　マイナーキーでのコードとスケールの基本的な動き　～その 2～

『10 分トレ』vol.55、始めていきましょう。

前回は、6 弦トニックの A ナチュラルマイナーを基本に、マイナーキーでのスケールチェンジを学びましたね。

それに続いて今回は、5 弦トニックの A ナチュラルマイナー⇔A ハーモニックマイナーの動きを、もう少し実践的なフレーズで確認しておきましょう。

まず、使うスケールポジションは以下になります。

図 1、A ナチュラルマイナー、5 弦トニック

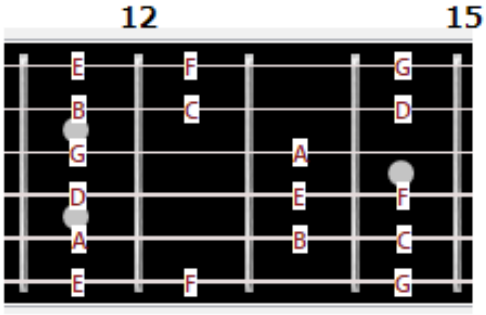
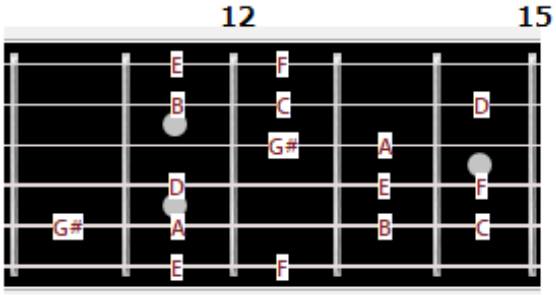
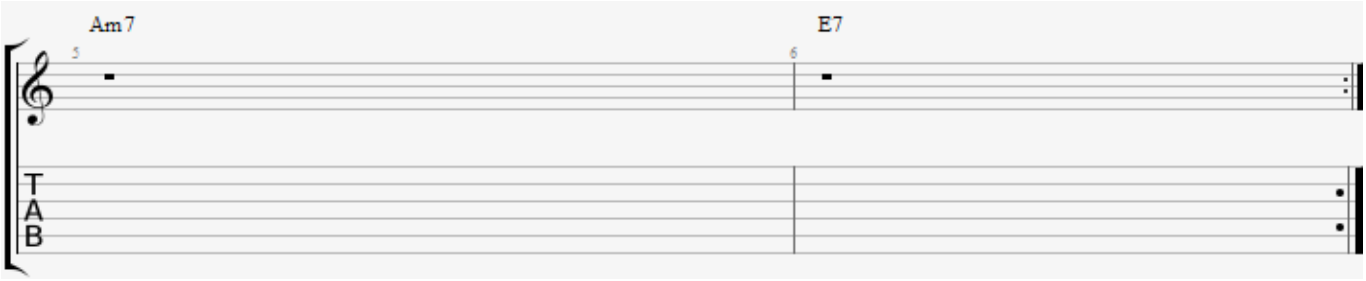


図 2、A ハーモニックマイナー ＝ EHmp5↓、5 弦トニック



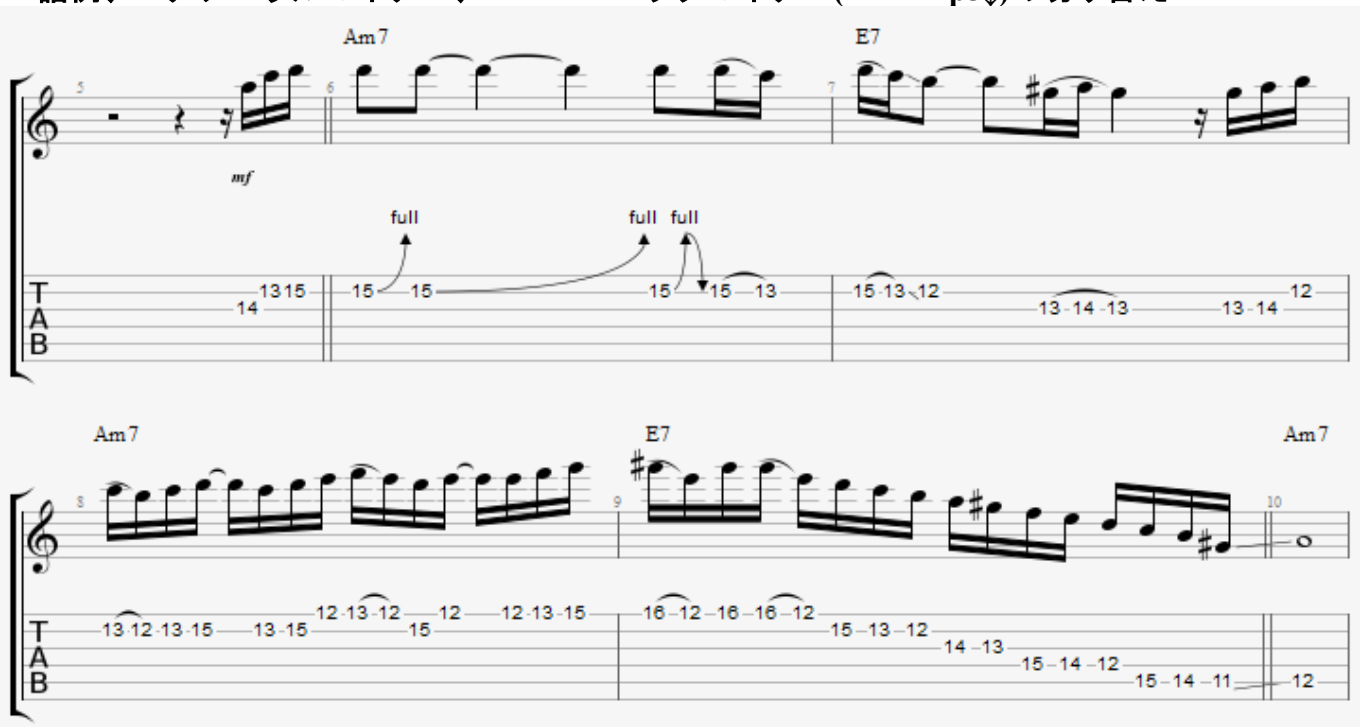
想定するコード進行は、前回と同じ Am7 ― E7 のループにするので、図 2 の方は、A ハーモニックマイナーの視点と EHmp5↓の視点の両方で見る事が出来るようにしましょう。
(※と、言ってもトニックを変えるだけですが)



Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

それでは、譜例は以下になります。

譜例、A ナチュラルマイナー、A ハーモニックマイナー(＝EHmp5↓)の切り替え



譜例の BPM は 80～ほどを想定しています。この様なコード進行でバッキングを作り、色々とフレーズを試してみて下さい。

Am7⇔E7 とコードが切り替わる時に、G 音と G♯音を使い分ける（＝スケールを切り替える）事に慣れておきましょう。

それでは、今回は以上になります。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved